

# もの忘れ外来のご案内

最近、記憶力や理解力が悪くなった…とご心配の方へ

近ごろ、ものの名前が思い出せない、大事なものを失くすようになった、食事をしたことを忘れる。ご家族が、何度も同じことを言う、怒りっぽくなった、趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった…と不安に思われることはありませんか。もの忘れには、加齢による正常なもの、認知症の初期の症状によるものがあります。日常生活に支障を来す認知症は、原因を早期に発見し、原因に応じた治療を早くから開始することで、症状を改善したり進行を遅らせることができる場合があります。心配な症状でお困りの方は、一度「もの忘れ外来」で専門医の診断を受けましょう。

## 認知症センター「もの忘れ外来」担当医

原 英夫 神経内科

佐賀大学医学部神経内科教授  
2005 Alzheimer Award (米国) 受賞

原 富英 精神科

国際医療福祉大学教授  
前佐賀県立病院好生館精神科部長

赤松 直樹 神経内科

国際医療福祉大学教授  
前産業医科大学神経内科学准教授



担当医	月	火	水	木	金	土
原 英夫						○ (月1回/午前)
原 富英				○ (午後)		
赤松 直樹			○			

医療法人社団 高邦会  
柳川リハビリテーション病院  
認知症センター

TEL. 0944-72-0001 (代表)  
FAX. 0944-72-1127

【診療科目】 整形外科、リハビリテーション科、神経内科、内科、リウマチ科、  
脳神経外科、循環器内科、眼科、皮膚科、歯科口腔外科 ■もの忘れ外来

〒832-0058  
福岡県柳川市上宮永町113-2